

2025年10月21日

新営業店システムの導入について ～窓口タブレットによるセミセルフ化～

京都中央信用金庫（理事長 植村 幸弘）は、日本電気株式会社（取締役 代表執行役社長兼 CEO 森田 隆之）が構築する新営業店システムを導入し、タブレット端末による各種お手続きのセミセルフ化を開始しますので、お知らせします。

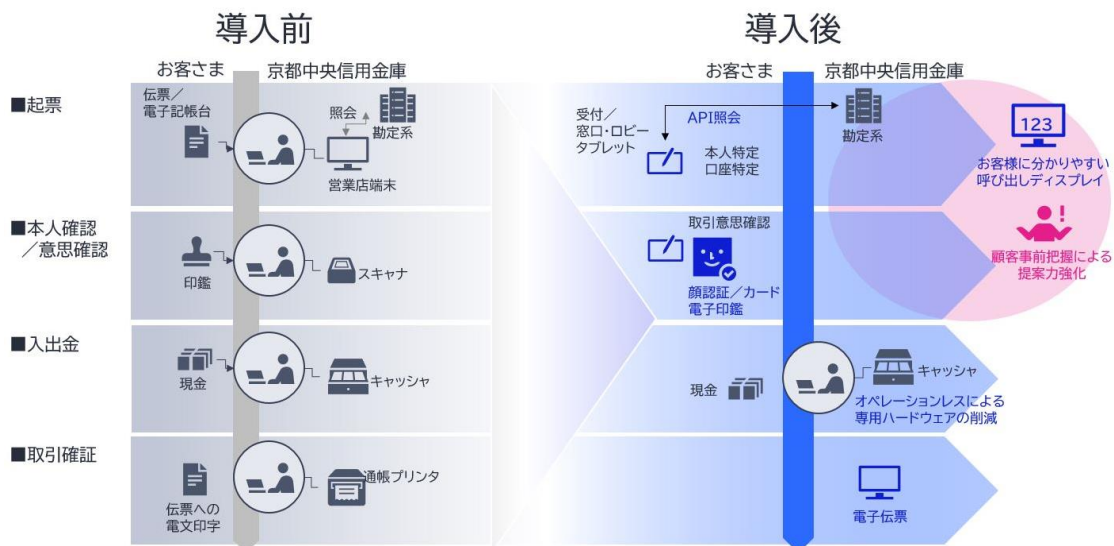
記

1. 新営業店システムの内容

開 始 時 期	2025年10月21日以降順次
導入の目的と概要	● 店頭ロビーおよび窓口にタブレット端末を設置し、これまで複数の伝票や申込書類への記入・捺印が必要だったお手続きを、タブレット端末への入力操作で完結させ、お客さまの記入負担を軽減するとともに、お手続き時間の短縮を図ります。 ● 一部店舗（70店舗程度）では、従来のEQシステム（窓口受付システム）に代わり、受付タブレットと大型呼出ディスプレイを設置します。新たなシステムにより、ご来店時にお客さまの要件を把握することで、スムーズなご案内が可能となります。これらの取組みを通じて、お客さまの待ち時間や滞在時間の短縮を図ります。 ● 下記3種類の本人認証手段を導入することで、通帳の持参や伝票等への印鑑の押印が不要となり、ペーパーレスの実現およびスムーズな手続きを促進します。 ① 顔認証 「京都中信顔認証アプリ」に事前登録することで、顔認証＋暗証番号で取引が可能です（通帳・印鑑レス） ② カード認証 キャッシュカード＋暗証番号で取引が可能です（印鑑レス） ③ 電子印鑑認証 新たに導入する印鑑PADに押印することで取引が可能です（伝票レス） ● 事務手続きの効率化により、これまで以上にお客さまに寄り添い、より付加価値の高いサービスの提供に努めてまいります。

取扱業務	お預入れ・お引出し・お振込み・口座開設（個人のお客さま）・ 取引時確認（個人のお客さま） ※今後も取扱業務の拡大を予定しております。
------	---

2. 導入前後の比較



3. 営業店システムを構成する主要機器

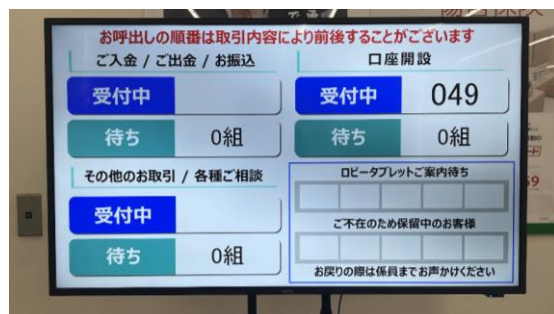
【受付タブレット】



【窓口・ロビータブレット】



【呼び出しディスプレイ】



以上